

本学事務職員をめざす皆さんへのメッセージ

このたびは、本学事務職員採用試験に興味をお示しくございましたことに、まずお礼申し上げます。応募に際して、採用担当から皆さんにぜひ知っておいていただきたいことを以下にまとめました。

社会変革における学校法人の役割

今、世界では猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻など、不安定な政治・社会情勢の渦中にあります。国内においても、少子高齢化による人口構成・世帯構成に変化に伴い、社会全体の構造が大きく変化しています。人材を育成し、社会に送り出している教育機関も大きな転換期を迎えています。政府や産業界からの強い要望により、学校法人におけるガバナンス改革が進められており、本年度中の国会において私立学校法など関係法令の改正案の提出が見込まれています。

学校法人におけるガバナンス改革のポイントは、不祥事を防止するための「守り」のガバナンスと中長期での価値創造のための「攻め」のガバナンスの二面性です。さらに、「攻め」と「守り」のガバナンス体制を構築した結果を積極的に外部へ情報開示を行い、自立的かつ透明性の高いガバナンス体制を構築することが求められています。学校法人が社会からの信頼を得て、経営をより強固でかつ強靱なものにし、教育の質向上につなげることで、次代を担う人材を育成し、有為な人材を社会に送り出すという役割は極めて重要なものです。幼稚園から大学まで有する本学園にとっても、社会環境をふまえ、社会に広く貢献できる自立した人材を育成するため、日々努力が必要です。

予測困難な時代における大学の使命

大学の最大の使命は「研究」、「教育」を通して「社会に貢献」することです。積極的な研究活動とそこから得た知見を社会へ発信すること、そして社会の発展のために有益な人材を社会に送り出すことに力を注ぐことが求められます。将来予測が困難となっている今の時代を生きる若者や学生にとって、大学での学修が次代を生き抜く基盤となり、自らの人生を切り拓くための最大の財産となるよう、大学はどのような環境下においても質の高い教育を提供する必要があります。

大学職員の役割と本学園が求める人物像

このような社会の期待に応えられる組織を作り上げるために、大学職員の役割はますます重要なものとなっています。従前大学職員が担ってきた管理・運營業務は当然のことながら、教育・研究に関する業務についても、教員をはじめ学内外の専門性の高い人材と協働・協創する機会が広がっており、「他者と協働して、より良い目標の実現を目指す」リーダーシップが求められています。

就学人口の減少に伴い、これからの大学経営は難しい時代に入っています。経営困難な大学の経営統合が進められていることは皆様ご存知の事でしょう。「大学淘汰の時代」が現実味を帯びてきています。それを覚悟した上で、大学職員を志す人材を求めています。具体的には、①物事に正面から向き合い、環境の変化や他者の意見を受け入れることができる人材、②学び続ける意欲を持ち、新しいことに挑戦し努力し続ける人材、③周囲と協働し、成長し続けることができる人材、④少々の失敗や挫折に屈せず、逆境やプレッシャーに打ち勝つことができるタフな人材です。

安易に、大学は安定的というイメージでの応募はお断り致します。大学職員という職業に、誇りと責任感を持ち、自らのリーダーシップを発揮したいという情熱をお持ちの皆様の応募をお待ちしています。

2022年4月

学校法人 共立女子学園
人事課採用担当